

質問通告書

令和5年2月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨
1	佐藤 浩 (60分) 【一問一答】	<p>1 令和5年度施政方針について</p> <p>(1) 地域の活力を高めるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一ノ関駅東口工場跡地の活用策検討のスケジュールは ・ 女性や若者の地元定着、地元就職を促進する具体策は ・ U I J ターン希望者の就職促進の具体策は ・ 農業の新たな担い手確保の具体策は ・ 「TGC teen ICHINOSEKI 2023」開催による、まちづくりの効果は ・ 地域経済活性化策の具体は ・ 木質バイオマス利用促進の具体策は ・ 都市計画道路未整備路線の見直しの調査の具体とスケジュールは <p>(2) 総合計画の着実な推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業振興の新たな地域計画の策定のスケジュールは ・ 新規就農者確保の具体策は ・ 地域の特色を生かした農産物生産振興を図る具体策は ・ 林業振興の具体策は ・ 有害鳥獣被害防止の新規、拡充施策は ・ 私人が所有する道路、いわゆる私道整備の具体は ・ 出産・子育て応援事業の具体は ・ 資源・エネルギー循環の推進の具体策は ・ 地域全体で支え合う豊かな地域社会実現のための具体は ・ ごみ出しが困難な高齢者世帯への支援の具体は ・ 医師確保の具体的な取組は ・ 高齢ドライバーの事故防止の安全運転支援装置設置の具体支援は <p>(3) 市政運営の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民と行政の協働によるまちづくりにおいて、地域協働体の自主的、主体的な取組を促進する具体は ・ ふるさと応援寄附金の見込みと活用の具体は ・ 「誰一人取り残さない」グローバル社会の形成と持続可能な地域社会の構築につながる経済、社会、環境の側面から、関係者が理念を共有するSDGsの具体的な取組は <p>2 令和5年度教育委員会教育行政方針について</p> <p>(1) グローバル人材育成プロジェクトにおいて、学校のICT環境についての現状認識と今後の進め方は</p> <p>(2) 学校と地域の協働推進プロジェクトにおいて、コミュニティ・スクール設置の現状と今後の進め方は</p> <p>(3) 教育環境の充実において、一関小学校の新校舎建設のスケジュールは</p> <p>(4) 学校部活動の地域移行において、課題と今後の取組は</p> <p>(5) 不登校対応について、現状と具体的な取組は</p> <p>(6) 幼稚園について、担当部署が健康こども部に組織再編されるが、教育委員会との連携の具体は</p> <p>(7) 教育委員会の所在が本庁から花泉支所内へ変わるが、効率的な業務推進を図る上で、現状の課題と今後の取組は</p>

2	千葉大作 (50分) 【一問一答】	<p>1 令和5年度施政方針について</p> <p>(1) 人口減少への対処</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2～4年の一関市の出生数は ・ 若い女性の方々が市内にとどまってもらえる場が必要となってくると思うが、その場が確保されているのか ・ 市長は常々「女性活躍会議」「若者活躍会議」「農業未来デザイン会議」の3つの会議体を通して人口減少に対する取組を進めるとしているが、その糸口は見えたのか <p>(2) まち・ひと・しごとの創生</p> <p>市長は、1社で100億円売り上げる企業もいろいろ、1億円を売り上げる企業を100社つくったほうがいいと述べている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 起業を志す人材の育成に力を注いでいるがその成果は ・ 一ノ関駅東口工場跡地は、令和8年度に全体像が見えるとされており、人口減少対策に資する「雇用を創り出す場」として引き続き活用策の検討を進めるとしているが、その具体についてお示しいただきたい <p>(3) 総合計画の着実な推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少が続く中での農業の振興策は ・ 人口減少が続く中での林業の振興策は ・ 人口減少が続く中での商店街の振興策は ・ 農業委員会が川崎地域に移ると仄聞するが、期待する効果は何か <hr/> <p>2 令和5年度教育委員会教育行政方針について</p> <p>(1) 教育委員会事務局の花泉支所への移転について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民にその根拠を示すべきと思料するが、教育委員会としての考えは ・ 学校や他部署等の連携はどのように担保されるのか <p>(2) 近年、不登校の児童生徒が全国的に増加しており、昨年度は24万5000人余りとなった</p> <p>一関みらいの会派では令和4年12月に埼玉県戸田市を訪問、教育民生常任委員会では令和5年2月に宮城県富谷市を訪問し視察研修を行った</p> <p>国は不登校の小中学生が過去最多となったことを受け、文部科学省は、1月31日に不登校の総合的な対策に乗り出す方針を固めた</p> <p>受け皿となる「不登校特例校」を拡充し、兆候を早期に把握するなど未然防止にも力を入れていると報道されている</p> <p>一関市の不登校児童生徒も近年増えている状況にあるが、国の方針にベクトルを合わせて対応すべきではないか</p>
---	-------------------------	---

<p>3 小野寺道雄 (40分) 【一問一答】</p>		<p>1 令和5年度施政方針について</p> <p>(1) 人口減少について伺う 市が公表している独自推計では、令和27年の人口は7万4000人と見込まれるとしているが、最新の公表されている人口データを使用した独自推計では、令和7年(2025)から令和27年(2045)までの5年ごとの人口はどのようにになると見込まれるのか</p> <p>(2) 稼ぐ力を高める施策について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 稼ぐ力とは付加価値を生み出す力であり、地域の稼ぐ力は、個人と企業、地域の有形、無形の資産からなると定義されているが、どのような施策を展開しようとしているのか ・ 付加価値を生み出す資産には無形の地域ブランドもあるが、地域ブランドの確立に向けた取組は <p>(3) 県が進めている北上川バレープロジェクトに関する提言について伺う 提言内容の具体は</p> <p>(4) 東京ガールズコレクション「TGC teen ICHINOSEKI 2023」について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントで“東京の最先端”を体験した“ワクワク感”をどのようなカタチで持続あるものにしていくのか ・ 地域の魅力や産物を発信するためにはイベントと連動した屋外での取組が期待される場所であるが、どのようなことを考えているのか <p>(5) 将来的な農地利用の姿を明確化する新たな地域計画の策定について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年3月までに策定が必要とされているが、どのような手順で進めるのか ・ 地域計画の策定に向けた工程表の作成 <p>(6) DXの推進について伺う デジタルデバйд対策については、どのように考えているのか</p>
		<p>2 令和5年度教育委員会教育行政方針について</p> <p>(1) 学校運営支援協議会(コミュニティ・スクール)について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取組の成果と課題は ・ 地域と学校が連携・協働して行う地域学校協働活動は <p>(2) いじめ防止対策について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの実態は ・ 国の令和5年度子ども家庭庁関連予算(案)に、地域におけるいじめ防止対策の体制構築として、首長部局との連携推進が掲げられているが、どのように捉えるか

4	齋藤禎弘 (40分) 【一問一答】	<p>1 国の大軍拡への市長の認識について 内閣は昨年12月16日に、「国家安全保障戦略」、「国家防衛戦略」、「防衛力整備計画」のいわゆる安保三文書を改訂した この安保三文書は、これまでの政府が行ってきた専守防衛を突き崩す反撃能力（敵基地反撃能力）の保持や、5年間で43兆円という防衛費の大幅な増額、そして、この財源を国民への増税で賄うという計画である</p> <p>(1) 安保三文書は専守防衛をうたった憲法9条と照らし、憲法9条に反すると考えるが、市長の認識を伺う</p> <p>(2) 防衛費がこの5年間で43兆円増額され、国民の負担などで賄う政府の方針は、地方自治体の財政に大きな影響が出ることが懸念されるが、市長の認識を伺う</p> <p>2 令和5年度施政方針について</p> <p>(1) 一ノ関駅東口工場跡地について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物件移転補償費の支払いはどのようになっているか ・ 土壌汚染の状況とその除去作業について、住民説明会での声はどのようなものがあったのか ・ 管理運営法人の設立について、現在の進捗状況、及び今後のスケジュールは ・ 地元資本の誘致は困難と、一関商工会議所会頭が懸念を示しているが、このことへの市長の認識は ・ JR一ノ関駅西側の商店街への影響についてどのように考え、また、その対応策は <p>(2) 新型コロナへの対応について伺う 現在、全国では新型コロナウイルス感染症第8波の下で、死亡者数が過去最多を更新し、医療崩壊や高齢者施設での集団感染の多発など、深刻な事態が続いている 医療体制を抜本的に強めることが今一番問われている このような中で、政府は、新型コロナウイルスの感染症法の分類を、季節性インフルエンザと同じ5類に移行することを決定した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の年末から今年の年始にかけて行った、新型コロナ検査キットの配布について、今後にかす教訓と反省点は
---	-------------------------	--

5	岩 淵 優 (4 0 分) 【一問一答】	<p>1 令和5年度施政方針について</p> <p>(1) 地域・まちを元気にする(まちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域おこし協力隊員の増員とあるが、一次産業への取組は ・ 地域活性化起業人制度の活用とあるが、どの分野に力点を置くのか <p>(2) 地域資源をみがき生かせる魅力あるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業振興に関して、「地域農業のあり方や将来的な農地利用の姿を明確化する新たな地域計画の策定に着手する」とあるが、どのような計画なのか ・ 有機農業の産地づくりとあるが、農林水産省の「オーガニックビレッジ」との関係性は <p>(3) 自ら輝きながら次代の担い手を応援するまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年4月1日施行の「こども基本法」にのっとった計画の策定、また、子ども等の声を聞く会議体の設置及び政策への反映については、どのように取り組んでいくのか ・ 「教育に関する大綱」で定めた基本目標である「学びを広げ、人と地域が共に育ち、一関の未来を創る」の観点から、不登校問題についてどのような取組を行っているのか ・ 妊娠期から子育て期までの一貫した支援とあるが、子ども政策を市政のど真ん中に置き、その政策の体系化をより明確にすべきでは <p>(4) みんなが安心して暮らせる笑顔あふれるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専業主婦、育児疲れを抱える保護者支援などを目的とした政府のモデル事業に手を挙げる考えはないか <p>(5) 市政運営の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 閉校校舎跡地などの遊休地を活用するとあるが、どのような方法を考えているのか <hr/> <p>2 令和5年度教育委員会教育行政方針について</p> <p>(1) 教育環境の充実について伺う 藤沢地域の小中学校の整備構想は</p> <p>(2) 不登校対応について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な取組は ・ 市長部局との連携は
---	------------------------------	--

<p>6 沼倉憲二 (60分) 【一問一答】</p>		<p>1 施政方針について</p> <p>(1) 「今という時代をどう捉え、どう対応しようとしているのか」基本認識を伺う</p> <p>(2) 市民がどこに住んでいても、「安心して幸せに生活できる」地域づくりが重要であり、そのためには市内の均衡ある発展を図る必要があることから、支所機能を充実して地域づくりを推進する考えはないか伺う</p> <p>(3) 「地域の活力を高めるまちづくり」では、新型コロナウイルス対策のワクチン接種のほか、必要な施策を行うと述べているが、新型コロナウイルス感染の鎮静化が進む中で、マスク着用等の予防策や融資資金の返済支援、ガソリンや電気代等の物価高騰に対する対応を伺う</p> <p>(4) 「働く場を増やす(しごとづくり)」の中で、新たな産業用地の整備に取り組むと述べているが、地域振興や若者定着の視点から、旧東磐井地域への整備も必要と考えるがその考えはないか伺う</p> <p>(5) 新たに私道整備を支援すると述べられているが、具体的な内容を伺う</p> <p>(6) 財政運営について、コロナ禍の前と現在では財政調整基金と市債管理基金を合わせた残高の見通しはどのようになっているのか 新型コロナウイルス感染症対策に自己資金がどのように使われたのか伺う</p> <p>(7) 新年度の情報化(ICT)の具体の取組と情報を確実に市民に伝える取組を伺う</p> <p>2 国際交流について</p> <p>(1) 国際交流についての基本認識を伺う</p> <p>(2) 人口減少が進む見通しの中で、年々、労働力不足が進み、マーケットの縮小が懸念されていることから、国際交流を進め人的交流や海外市場への販売など将来に備えて取り組む考えはないか伺う</p> <p>(3) ベトナムとは25年の交流の実績があり、130人を上回る日本との交流経験者が、在ベトナム藤沢会を組織して経済界や行政分野等で中堅として活躍している この交流をフレンドシップから人的、物的な交流にレベルアップし、ウィン・ウィンの関係となるよう取り組む考えはないか伺う</p> <p>3 教育行政方針について</p> <p>(1) 学校教育の基本は、確かな学力の育成であると考えているが、現在の市内の生徒の学力の水準は、どのようになっているのか、それをどのようにして高めようとしているのか伺う</p> <p>(2) 増加する不登校や学校部活動の変化、小学校の英語指導やICTの推進など、学校現場は、難しく新たな対応が求められているが、教育委員会と学校現場との連携はどのようになっているのか伺う</p> <p>(3) 誇りと愛着を醸成する文化の継承が述べられているが、日本の原風景ともいべきかやぶき家屋の保存について、市としてどのように支援しているのかを伺う</p>
<p>7 岩淵典仁 (40分) 【一問一答】</p>		<p>1 デジタル田園都市国家構想について</p> <p>少子高齢化や人口減少の進展により、人手不足、後継者不足、地域活力の低下が懸念される中、様々な分野において、デジタルの力を有効に活用し、地域の個性を生かし、効率的に魅力あふれる地域づくりを実現することが重要である</p> <p>国は、令和4年12月23日に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を閣議決定した基本方針では、デジタル田園都市国家構想を「これまでの地方創生の成果を最大限に活用しつつ、国や地方の取組を大きくバージョンアップさせ、地方の社会課題を解決し、魅力を向上させることを通じて、地方活性化を図る」ものと位置づけている</p> <p>「誰一人取り残されないデジタル社会」の実現を目指して、地域の課題解決に資するデジタル化を、適切かつ迅速に推進し、全ての市民がその恩恵を享受できる社会を構築することが必要である</p> <p>そこで、以下3点について伺う</p> <p>(1) デジタル田園都市国家構想を展開するに当たっての課題</p> <p>(2) デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用状況と今後の取組</p> <p>(3) デジタル人材の育成・確保</p>

		<p>2 健康こども部について</p> <p>我が国では、少子化が急速に進行し、こどもや子育てを取り巻く環境は、核家族化や地域のつながりの希薄化により、家庭における養育機能が低下し、こどもの育ちと子育てを社会全体で支える仕組みが求められている</p> <p>国は、こどもの権利を保障し、こどもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しするため、令和5年4月に新たな司令塔として、「こども家庭庁」を創設する</p> <p>本市においては、これまで教育委員会で所管していた幼稚園に関する業務を市長部局に補助執行し、就学前のこどもに関する事務については、一体的に対応する体制とし、安心して子育てができる環境づくりのため、こどもとその家庭やこどもを取り巻く環境への包括的な支援体制を構築するとともに、保健衛生活動の質を維持させるため、令和5年4月に新たに「健康こども部」を設置する</p> <p>そこで、以下3点について伺う</p> <p>(1) 「健康こども部」設置の概要</p> <p>(2) 「健康こども部」関連の新たな取組</p> <p>(3) こども等の意見の反映</p>
8	<p>猪股晃 (60分) 【一問一答】</p>	<p>1 予算編成方針における、今住んでいる土地にこれからも住み続けていけることの考えと、今後の取組について</p> <p>(1) 住み続けていける地域づくりのイメージ、目指す姿を伺う</p> <p>(2) 予算において、住み続けていける地域づくりに向け、特に、地域づくりと農業振興の観点から、新たな事業、拡充する事業、あるいは、取組体制などの検討結果を伺う</p> <p>(3) 地域づくりの視点から、地域協働推進計画(第2次)の見直しの年度であるが、新たな計画づくりに当たり、住み続けていける地域づくりに向けた取組の方向性を伺う</p> <p>(4) 特に、地域協働体、自治会等の育成をどのように行っていきたいと考えているか伺う</p> <p>(5) 農業、農村の維持、発展の目指す姿を伺う</p> <p>(6) 農村社会の維持、発展に向けた今後の取組を伺う</p> <p>(7) 住み続けていける地域づくりに向けた、部局横断的な事業や課題把握の取組を伺う</p> <p>(8) 農村RMOに対する捉え方と、今後の取組の方向性を伺う</p>
9	<p>岡田とみ (40分) 【一問一答】</p>	<p>1 学校給食費の無償化について</p> <p>物価高騰に対する緊急の負担軽減の対策として、重い教育費負担の軽減が求められている</p> <p>(1) 市独自の子育て支援策の拡充として、学校給食費を無償化すべきと考えるが見解を伺う</p> <p>(2) 学校給食費無償化の実施について、子供の権利と捉えることが重要だと考えるが見解を伺う</p> <p>2 フリースクール等への公的補助について</p> <p>本市の不登校児童生徒は年々増加しており、令和3年度は小学校48人、中学校128人、計176人で過去最多となった</p> <p>不登校の子供を支える多様な場の確保が求められており、フリースクール等への公的支援は、学校で学ばない子供の教育を受ける権利を保障する上で必要不可欠な措置と考えるがいかがか</p> <p>3 飼料・燃油等の価格高騰に対する緊急支援について</p> <p>(1) 12月議会において市は、畜産物生産緊急支援給付金の交付を進めながら飼料価格の動向などを注視していくとしていたが、酪農家から一回限りでは毎月の赤字が大きすぎて窮状をしのげないなどの声が寄せられている</p> <p>酪農家が生き残れる緊急の支援策が求められるが、その考えはないか伺う</p> <p>(2) 有害鳥獣の被害防止に取り組んでいる、猟友会(一関市鳥獣被害対策実施隊)に対して、捕獲に要する費用等への支援策が求められている</p> <p>補助金を交付する考えはないか伺う</p>

10	小 岩 寿 一 (4 0 分) 【一問一答】	1 プレコンセプションケアについて (1) 当市での現状は (2) プレコンセプションケアへの今後の対応について市の考えは <hr/> 2 保育園での使用した紙おむつの処理について (1) 現在の処理は (2) 近隣の自治体の状況は (3) 今後の方針は
----	--------------------------------	---

11	<p>武田 ユキ子 (40分) 【一問一答】</p>	<p>1 地域・まちを元気にする(まちづくり)について</p> <p>(1) 地域活性化起業人制度の活用の具体について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動分野は ・ 人数・期間は ・ 人選の在り方は <p>(2) 一関市の魅力発信について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一関市の魅力とは ・ 現状と課題は ・ 一関市出身・ゆかりのある方に市の魅力発信役として大使を委嘱する考えは <p>2 一関小学校の整備について</p> <p>一関小学校の整備計画について、勝部前市長は、「将来の一関市を代表するだけでなく、これからの学校のあるべき姿を示せるような他に誇れる学校を目指したい」と述べられた経緯があり、当時佐藤市長は副市長という立場でした</p> <p>こうした背景を踏まえて以下について伺う</p> <p>(1) 具体的な整備方針は</p> <p>(2) 住民の意向の反映は</p> <p>3 教育現場における諸課題について</p> <p>(1) 学校運営支援協議会(コミュニティ・スクール)について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実績と評価・課題は ・ 今後の取組は <p>(2) 不登校について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状と課題・対策は ・ フリースクールに対する所見は ・ 児童生徒の得意科目・分野・個性を生かす教育を <p>(3) 教職員研修について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状認識と課題、今後の取組は
12	<p>門馬 功 (50分) 【一問一答】</p>	<p>1 林業振興について</p> <p>市は、昨年10月に「林業振興の推進に関する基本指針」を制定し、林業施策の基本的事項を定めたところであるが、</p> <p>(1) 森林整備の第一歩となる、森林の所有者、境界、地形、樹種や生育状況など森林整備の基盤となる情報を一元的に取りまとめた「林地台帳」の更新やレーザー計測に対する考え方と整備状況について伺う</p> <p>(2) 効率的な森林整備、森林経営につながる「森林経営計画」策定に係る考え方と策定状況について伺う</p> <p>(3) 森林資源を無駄なく使うためには、切捨て間伐から搬出間伐への転換が必要と考えるが、市の考え方について伺う</p> <p>2 若者・女性の活躍を目指すまちづくりについて</p> <p>市長は、就任直後から「女性活躍会議」「若者活躍会議」「農業未来デザイン会議」の3つの会議を立ち上げたが</p> <p>(1) 会議の開催状況と会議の持ち方について伺う</p> <p>(2) 会議で話し合われた内容と市長の所見について伺う</p> <p>(3) 令和4年度に予算化された事業の実施状況と評価について伺う</p> <p>3 私道整備の支援について</p> <p>令和5年度施政方針で私道の整備支援について記載されているが</p> <p>(1) 私道の整備支援に至った経緯、考え方について伺う</p> <p>(2) 私道の整備支援の内容について伺う</p>

13	佐藤幸淑 (40分) 【一問一答】	<p>1 電子図書館の今後の運営について</p> <p>(1) 電子図書館の貸出し実績を伺う</p> <p>(2) 電子図書館運営に当たった費用を伺う</p> <p>(3) 電子図書館利用に対しての課題について伺う</p> <p>(4) 今後の取組計画を伺う</p> <hr/> <p>2 一関市水道事業について</p> <p>(1) 令和3年度における配水管布設替工事の実績と配水管整備事業のうち道路改良事業等に併せた工事の割合を伺う</p> <p>(2) 令和3年度の工事によって経年化率にどのような変化があったか地域ごとに伺う</p> <p>(3) 令和3年度の水道事業報告書で災害時等における供給体制の強化を図ったとあるが具体的に伺う</p> <p>(4) 令和3年度の水道事業報告書で漏水が頻発している配水管の布設替工事を行ったとあるが具体的に伺う</p> <p>(5) 今後の配水管布設替工事の計画を伺う</p> <p>(6) 令和3年度水道事業会計について、収入及び支出の状況から、さらなる経営健全化に取り組む必要があるとしているが具体的な計画を伺う</p>
14	千葉信吉 (40分) 【一問一答】	<p>1 教育職場の働きやすい環境整備について</p> <p>(1) 超過勤務を含めた労働実態の現状は</p> <p>(2) 持ち帰り残業の内容と時間の把握は</p> <p>(3) 教職員の健康状態の把握、また、再検査などの対応と状況は</p> <p>(4) 教職員に欠員が生じた場合の補充の状況、授業への影響は</p> <p>(5) きめ細やかな指導を行うために少人数での指導が必要と考えるが、いかがか</p> <p>(6) 部活動指導が中学校教員の超過勤務の要因の一つとなっていると思うが、現在の状況は</p> <p>(7) 部活動の地域移行がどの程度進んでいるのか 今後、いつどのように進めるのか、具体的なスケジュールと内容は</p> <p>(8) 「働き方改革」の改善に向け、取組が行われているが、いまだ働き方改革が進んでいない感がうかがえる 現状と課題は</p>

15	佐藤真由美 (40分) 【一問一答】	<p>1 安心して子育てができる、高齢者が安心して生活できる環境づくりについて 少子高齢化、核家族化が進む中、子育てに不安を感じる方が多くなり、高齢者世帯、 独居高齢者も増えている</p> <p>(1) 伴走型相談支援と経済的支援をどのように進めていくのか伺う (2) 保健師、栄養士業務が令和5年4月から集約される 本来、抜本的な体制強化が必要と考えるがいかがか</p> <hr/> <p>2 保育士配置基準の拡充について 全国の認定こども園、保育園など子供に関わる施設で重篤な事故（いじめ含む）が増 えている</p> <p>(1) このことを、どのように捉えているか伺う (2) 市独自に十分な保育士配置と体制強化が必要と考えるがいかがか</p> <hr/> <p>3 土木工事の拡充について 人口減少、高齢化、物価高騰など様々な要因により、経済が疲弊している 建設、土木事業者も存続の危機である しかし、市民からは、道路の改修、舗装、安全対策を望む声が多く寄せられている</p> <p>(1) 一関市予算のうち土木費道路橋梁費の推移を伺う (2) 道路環境を維持するための計画的修繕の内容を伺う (3) 私道の整備の支援について伺う</p>
----	--------------------------	---

16	<p>那 須 勇 (6 0 分) 【一問一答】</p>	<p>1 地域おこし協力隊の制度を活用した取組について</p> <p>(1) 地域力の維持・強化を図るためには、担い手となる人材の確保が特に重要な課題となっている 地域おこし協力隊について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去の取組状況は ・ その成果は <p>(2) 令和5年度の取組について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業ごとの取組内容は ・ 期待する効果は <p>(3) 地域おこし協力隊員の活動が円滑に実施されるための生活・居住に対する支援についての考えを伺う</p> <hr/> <p>2 国道343号渋民バイパス「道の駅」について</p> <p>(1) 令和6年度中の供用開始を目指して取り組んでいるとのことだが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建設整備に係る進捗状況は ・ 供用開始までのスケジュールは ・ 供用開始の具体的な期日は <p>(2) 管理運営体制について、指定管理者制度の導入を予定しているとのことだが、導入に向けての進捗状況を伺う</p> <p>(3) 「防災道の駅」について、岩手県の助言を得ながら選定を目指して進めていくとのことだが、県との協議内容も含め、現時点での取組状況を伺う</p> <hr/> <p>3 市立及び学校図書館運営の充実について</p> <p>(1) 市立図書館の利用者が利用しやすい環境整備について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LED照明の整備状況はどうか、整備計画は ・ 資料の収納に関する整備状況はどうか、整備計画は <p>(2) 市民の読書推進や自主的な学習活動への支援について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レファレンスサービスの具体例及び利用回数は ・ レファレンスサービスの効果は <p>(3) 移動図書館車の更新は、市内全域サービスの計画を踏まえながら考えていくとのことだが、具体的な更新計画について伺う</p> <p>(4) 学校統合による図書整備についての考えを伺う</p> <hr/> <p>4 文化財の保存について</p> <p>(1) 地域の文化財を良好な形で後世に伝えるための保存について、基本的な考えを伺う</p> <p>(2) 地域の財産である文化財への理解促進と保護意識の啓発のために、具体的にどのような取組をするのか伺う</p> <p>(3) 大東町渋民にある「木造観音菩薩坐像」について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年10月31日国指定の重要文化財(彫刻)に指定されているが指定となった経緯は ・ 収納している施設について、管理状況は
----	---------------------------------------	---

17	佐藤 敬一郎 (40分) 【一問一答】	<p>1 インボイス制度への対応について 制度開始時に発行事業者となるためには、原則令和5年3月31日までに登録申請が必要となっている</p> <p>(1) 市の状況について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インボイス制度の目的は ・ 市の各種会計の登録状況とその影響は <p>(2) 企業、個人事業主、各種団体への対応について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者への周知は ・ 事業者への支援策は <hr/> <p>2 フリースクールへの支援について 不登校の児童生徒は年々増加しており、学校に居場所をなくした子たちを救うため、ひきこもりの児童生徒を一人でもなくすため、フリースクールの設置費と運営費への支援、さらにフリースクールとの連携を担う人材の配置等について伺う</p> <p>(1) フリースクールに対しての市の考えは</p> <p>(2) フリースクールの設置に対して市の経済的支援は</p> <p>(3) フリースクールの運営経費への市の支援は</p> <p>(4) フリースクールとの連携を取るための人材の確保や教師派遣支援は</p> <p>(5) フリースクールに市外、県外の児童生徒も受け入れるべきと考えるが市の見解は</p> <p>(6) 閉校後の花泉小学校をフリースクールとして利用できないか</p>
18	千葉 栄生 (40分) 【一問一答】	<p>1 協働のまちづくりについて 少子高齢化とコロナ禍により地域活動の現状は、非常に大変な状況にあるが、協働による地域づくりの、これまでの課題と今後の取組について伺う</p> <p>(1) 地域協働体の現状把握と課題は</p> <p>(2) 指定管理している施設の課題と今後の対応は</p> <p>(3) 子供の地域活動の課題と今後の対応は</p> <hr/> <p>2 生活困窮者世帯への相談支援について コロナ禍と物価高騰により市民生活は非常に厳しい状況にあるが、特にも生活困窮者世帯への早期対応が必要だと考えるが、市としての見解を伺う</p> <p>(1) 生活困窮者世帯の現状と対応等の課題、今後の対応は</p> <p>(2) 職員等の現状と課題は</p>
19	永澤 由利 (40分) 【一問一答】	<p>1 少子化対策について</p> <p>(1) 一関市の少子化の現状と課題</p> <p>(2) 出産・子育て応援事業</p> <p>(3) 子どもの居場所づくり</p> <p>(4) 男女共同参画事業との連携強化</p> <hr/> <p>2 川崎地域デマンド型乗合タクシー運行について</p> <p>(1) 導入の経緯と運行見通し</p> <p>(2) 利用者登録について伺う</p> <hr/> <p>3 JR一関駅東口周辺の利便性向上について</p> <p>(1) 東口交流センターの今後の活用策について伺う</p> <p>(2) JR一関駅西口と東口を結ぶ交通手段について伺う</p>